

聖霊降臨節第21週 主日礼拝

2019年10月27日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(パシャルケに合流)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『マタイの福音書』25章37-40節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌1「いざ皆きたりて」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌99「馬槽の中に」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』9章51-56節(新約132頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「たとえ受け入れなくても」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌388「いとも良きものを」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	横堀 正美兄	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	説教：近伸之牧師 司会	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司会	会：片山 浩司兄 会：笹川 清子姉 (長谷川睦子姉)	映像・音響：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	CS担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

1. サマリヤ人は、イエスの時代から約700年前に起きた北イスラエル滅亡によって、残留民と外国人の混血によって生まれた。ユダヤ人、とくにエルサレムの宗教指導者たちとは犬猿の仲であった(ヨハネ4:9)
2. 「エルサレムに御顔を向けておられた」イエスを、サマリヤ人は誤解し、受け入れなかった。だがその誤解は彼ら特有のものではなく、生まれながらの人間に共通のもの。キリスト者が仕える働きは、はじめから人々に受け入れられるものではない。しかしそれでも、神に仕えるように人に仕えよという呼び声が聞こえるか
3. 二人の弟子の姿は、信仰者もまた敵意に飲み込まれやすい者であることを表す。イエスは彼らを叱り、別の村に行かれた。しかし神はサマリヤ人を見捨てなかった。やがてペリポの伝道によって多くのサマリヤ人が救われた(使徒8章)。それを証言した使徒は、かつて雷を落とそうと言ったヨハネその人だった(8:14)

今週の暗唱聖句

「あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい」 (『エペソ人への手紙』4章1節)

個人、団体からの来信

2019年10月27日

同盟教団より定期便/宣教区役務者会の報告[10月22日(火・祝)に開催]/
村上福音キリスト教会より、領収書類/北新潟キリスト教会より、「伝道60周年記念誌」贈呈とご挨拶/
[訃報:PBA(テレビ部)山本和明兄が10月20日(日)に急逝されました。]

先週の集会出席者数

10/20(日)				
	※第一礼拝と教会学校は休会		※月に一回、書道教室を開催	
	歓迎礼拝(子ども)	男13 女20 男児1 女児5	10/21(月) 月曜家庭集会	男1 女3
			10/23(水) 放送伝道祈禱会	男4 女5
	バザー来会	男6 女40 女児3	10/25(金) シャベリ場タビタ	男- 女3
	※夕拝も休会		10/25(金) 金曜祈禱会	男- 女3

諸集会のご案内

	※月に一回書道教室を開催		
月曜家庭集会	(休会)		
バルナバ祈禱会	10/30(水)午後7:30	教会堂	司会：横堀 信子姉
シャベリ場タビタ	11/1(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
金曜祈禱会	11/1(金)夜	教会堂	

11/3(日) 聖霊降臨節第22週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	献金：沼田佐代子姉 音響：片山 勝三兄	聖餐準備：笹川 清子姉 配餐：片山 健司兄
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉	聖書箇所 Ⅱ列王5:1-19	暗唱聖句 ヤコブ4:6
聖餐礼拝 午前10:30	司会：近伸之牧師 集会：長谷川睦子姉 (山岸あけみ姉)	映像・音響：山崎 敬典兄 聖餐時配餐：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：渡邊 智子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	10/27[近牧師] 11/3[片山姉] 11/10[近牧師] 11/17[佐藤兄] 11/24[片山姉]		
掃除当番順	10/27[小林姉] 11/3[小山姉] 11/10[佐藤姉] 11/17[長谷川姉] 11/24[山岸姉]		
主日の予定	CS教師会 定例役員会	昼食後 会計後	進行：片山初子姉
夕拝 午後7:30	[10/27の夕拝はパシャルケに合流] 次回夕拝：Ⅰコリント3章10-17節 [11/3第一・聖餐]『ルカの福音書』9章57-62節		

報告

1. 礼拝の恵み
主日礼拝の恵みを感謝します。生けるみことばを心の内に刻みましょう。この後は昼食をいただき、午後は賛美練習などをおこないます。
2. 学園Dayについて
本日午後6:30より新潟福音教会において、聖ヶ丘バイブルキャンプの報告や講演が持たれます。当教会の夕拝も合流いたしますので、よろしくお願ひいたします。

3.

ライフライン・メッセージ「苦しまなければ」村上 宣道

私たちはよく、「もうこの病気さえなければ、こんなに苦しまなければ」と思うことがあります。病気や苦しいこと、辛いことはないにこしたことはありません。確かに、病の中にいらっしゃる方は、どんなにかその病から解放されたい、いやされたいと思うことでしょうか。苦しみたいと思う人は誰もいません。失敗したい、挫折したいと思う人もいないでしょう。

しかし聖書には、次のような言葉があります。
「苦しみ会ったことは、私にとってしあわせでした。」

(旧約聖書『詩篇』119篇71節)

この詩篇の詩人は、様々な辛く苦しい所を通ったことによって、神さまのおきてを学ぶことができたと言うのです。

時々、「私は一度も病気をしたことがない、失敗したことがない、挫折したことがない」と言う人がいます。それはそれですばらしいことです。でも、もしかしたらその方は、人間として大切なことをまだ知らないのかもしれない。

私の教会にお医者さんがいます。彼は、医者としてずっと長い間、診察・治療にあたってきましたが、本人はあまり病気をしたことがありませんでした。しかし、肝臓移植研究のために、アメ

リカのピッツバーグ大学に留学していた時、自分自身が肝炎にかかり、生死をさまよいました。たったひとりで留学していたその時の淋しさ、つらさ。彼はクリスチャンでしたが、「ああ、この旅の空で死ぬんだ」と思った時、なんとも言えない孤独感を味わいました。

辛い命拾いしたのですが、「自分が病気になって、病に苦しむ方の気持ちがよく理解できました」と彼は言っています。その時彼は、自分の理想としている医療、すなわち患者さんの立場に立った医療をしようと決心しました。大きな大病院の助教授にもなっていて、将来を嘱望されていた人でした。しかし、すべてを投げうって借金までして、地域に根ざした医院を開業したのです。「もし自分が苦しまなかったら、病気にならなかったら、私は医者として失格だったに違いない」とは彼の言葉です。

私たちは、辛い苦しい経験をしなかったら、人間として失格かもしれません。そう考えるときに、やはり「苦しみ会ったことは、私にとってしあわせでした」と受け止めていきたいものです。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



11/2(土)、9(土)「あなたを諦めない」藤藪 庸一さん

和歌山県南紀白浜にあるキリスト教会の牧師・藤藪庸一さんは、前任牧師から引き継いだ「三段壁いのちの電話」の活動を行っています。これまでに900人以上の自殺志願者を保護し、共同生活をとおして社会復帰を助けてきた藤藪さんは、この3月に『あなたを諦めない 自殺救済の現場から』という本を出版しました。本について、また、働きについてのお話を2週にわたって紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年10月27日

週 Weekly Bulletin 報

Vol. 48/No. 43
(通巻2442号)



2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

